

部門紹介

東濃訪問看護ステーション

管理責任者 余語みか



東濃訪問看護ステーション管理責任者の余語みかです。

私が訪問看護師として仕事を始め早11年経ちました。その間には多くの方たちとの出会いと別れがありました。「ずっとわが家で暮らしたい」と思い、そして最後の日々を「住み慣れたわが家で」と願う人は少なくないのではないのでしょうか？

1970年までわが国の8割近くの方が自宅で最期を迎えられていましたが、社会経済の高度成長に伴って、医療の進歩と社会保障制度が整い「病院」が身近になり病気を治療するだけではなく「看取り」までもが病院にお任せする時代となっていました。現在、高齢者の7割が病院で最期を迎えています。入院中の患者さんで特にターミナル期の患者さんは「病状変化」「医療依存度」「介護力」「経済的問題」など様々な理由で在宅療養へ踏み出せないのが現状です。また患者さん・ご家族・病院の医療従事者が「在宅療養生活を具体的にイメージできない」といった事もあるとおもいます。

現に私も病棟に勤務していた時はそうでした。そんなターミナル期の方が安心して在宅で療養生活を送れるように当ステーションでは県立多治見病院の緩和ケア病棟検討会に在宅医と共に定期的に参加して連携を図っています。今、療養生活を送っている方、あるいはこれから送る予定のある方、何か困っている事があればどんなことでもかまわないので当ステーションに気軽に相談して下さい。何か良い解決策が見つかるかもしれませんよ。





インフォメーション

KUMON

～くもん学習療見学施設の集い～



東濃デイ脳リハビリセンターは、くもんの学習療法を取り入れ、脳リハビリを行っています。学習に取り組んでみえるお客様の数は、日本の通所介護（デイサービス）の中で、日本一と言われます。先日、名古屋市での「公文の集い」に参加し、地域の学習療法モデルの認定施設として、公文学習療法センター社長、大竹洋司様より、表彰を受けてきました。これからもより多くの方に、脳リハビリを楽しく提供させて頂けるよう取り組んでまいります。



～職場の教養 朝礼で読み始めました～

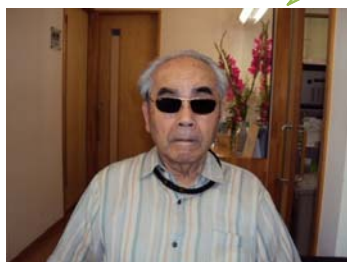
ブレイングループの全職員は、7月1日より、職場の教養(社団法人倫理研究所)を、朝礼時に音読しています。専門職として人間性を高め、豊かな心を育むためです。経営理念である「貢献・感謝・信頼」をベクトルに、地域の皆様に安心して頂け、頼りにされる専門職になっていきたいと思ひます。



お客様の声 ①

土本 牧雄 様

これから元気に利用させていただきます！



県病院の先生が、「土岐市でリハビリをやっている所がある」と土岐内科クリニックを紹介してくれました。デイサービスには6種類のトレーニング機械があり、体を動かす。送迎もしてくれるので通う事ができ、もう7年くらいになる。体が健康になり、1日も休まず来れている。リハビリで足腰が良くなり、今では離れている所からトレーニング機械への移動もできるようになった。脳リハビリセンターでは、懐かしかった事、忘れていた事を思い出す。商売をしていたので、計算も楽しく、脳のトレーニングができています。職員さんもいい人ばかりで、好きなハーモニカを吹いたりもしています。

現在 当サービスをご利用中の方に意見をいただきました。
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。



お客様の声 ②

こちらへお世話になったのは8年前で、既にもう自分の名前さえ言えないような状態でした。その後徐々に病気が進行し、数年前から寝たきりとなりました。1ヶ月ほど前から食事を摂る事ができなくなり、点滴で頑張ってくれましたが、先日静かに息を引き取りました。訪問看護は24時間対応して頂き、安心して過ごすことができました。スタッフの皆様には8年間、温かく接して頂き、本当に良くして頂きました。そして最期の日まで母に寄り添って頂きました。皆様のお蔭で、母だけでなく私ども家族もしっかり支えて頂いて深く感謝しております。母も、言葉は失っていましたが、心のどこかで感謝していたことと思ひます。本当にありがとうございました。

故伊納あき様 ご遺族様



心豊かに向き合える認知症ケア～ターミナルを考える～

私達は生の終わりをどこで迎えるのだろうか。住み慣れた家で家族に見守られて旅立つにはどんな条件が必要だろうか。名古屋市瑞穂区にて長谷川理事長が講演を行いました。脳梗塞で運ばれたAさん、同じ話を繰り返す母Cさん、様々な介護事情・症例を基に、介護力、介護プランのポイント等を話し、最後に、死を意識する事はよく生きる事。と話されました。



認知症を知って地域で支え合うために～いつまで在宅生活が可能か～

認知症には様々な原因疾患があり、段階がある。日常生活に問題はないが、入院時に混乱が生じる、高速道路を逆走した、という方は早い段階での受診をおすすめしたい。幻覚や妄想などの周辺症状が現れると、それをどれだけコントロールできるかが、在宅生活維持の大きなポイントとなる。各種介護保険サービス、病院、社会資源を上手く利用して頂きたい。



講演・勉強会のご案内

担 当 者	対象者	日 時	場 所	内 容
理事長 長谷川嘉哉	医療介護従事者	H23.8.18(木) 19:00～20:45	中濃厚生病 院2F 講義室	「100km圏内から患者さんが集まるクリニック」 ～認知症をいかに診断・治療しているか？
専門理学療法士 岸本 泰樹	地域の方	H23.8.20(土) 14:00～15:00	土岐市 北消防署	「自宅で出来る健康体操」
理事長 長谷川嘉哉	医療介護従事者	H23.8.21(日) 10:00～1600	東京 日総研	認知症新治療薬から学起訴知識と症状別ケア「～ ストーリービジョンで学ぶ認知症ケア～
理事長 長谷川嘉哉	関係者	H23.8.24(水) 18:00～19:00	名古屋 メルパルク	「専門医が教える ちょっと得するお金の話と健康理」 ～あなたがもしも脳梗塞で助かったら～

土岐内科クリニック

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-12

TEL 受付 0572-53-0656
外来リハビリ 0572-53-1107
FAX 受付 0572-53-0658
外来リハビリ 0572-53-0667

株式会社ザイタック

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-11-1

TEL 0572-54-0201
FAX 0572-54-0378

BrainG
ブレイングループ
BRAIN MEDICAL CORPORATION
<http://brain-gr.com>

交通のご案内

診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
9:00 ～ 12:00	●	●	●	●	●	●
13:00 ～ 16:00	訪 問 診 療					
16:30 ～ 18:30	●	●	●	●	●	



- 東濃訪問看護ステーション ☎ 0572-54-0355
- 東濃介護支援センター ☎ 0572-54-1171
- ナーシングデイ ☎ 0572-54-0355
- 東濃デイ脳リハビリセンター ☎ 0572-53-1101
- 東濃デイサービスセンター東館・西館 ☎ 0572-54-1103

- 東濃デイサービスセンター松坂 ☎ 0572-20-1199
- 東濃デイリハビリセンター ☎ 0572-54-1196
- 東濃デイサービスセンター元町 ☎ 0572-53-1010
- 東濃デイサービスセンター滝呂 ☎ 0572-43-6696



ホムドクスクエア

すい臓がん



土岐内科クリニック院長
橋本貴至

すい臓がんは、早期発見が困難で発見された時にはすでに進行し、完全に治る事が困難な病気として有名です。これだけ医学が進歩しているのに、治るがんが増えてきているのに、何故すい臓がんは治るのが困難なのでしょう？今回は、すい臓がんに関して紹介します。

すい臓の位置と働き

すい臓は、胃と十二指腸に囲まれ、体の正面から見ると胃の奥深くに存在し、背骨の前側にあります。十二指腸にくっついており、十二指腸側から膵頭部、体部、尾部に分かれています。この解剖学的な位置が問題となり、初期の小さいがんの頃には症状がでできません。すい臓の働きは、食べ物の消化です。外分泌機能・内分泌機能の二つに大きく別れます。外分泌機能として、すい液という消化液を作り、十二指腸に送り込み消化を促進させているのです。

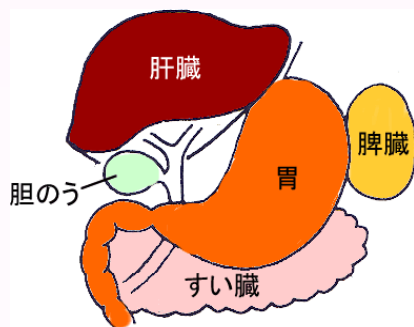
もうひとつの働きの内分泌機能は、様々なホルモンの分泌をしています。ホルモン分泌の中でも有名なのはインスリンです。血糖値を下げるという重要な役割すい臓は行っています。

すい臓がんの症状

すい臓がんの初期症状は、ほとんど現れません。解剖学的に体の背中側にあり、他の臓器の様に消化器症状がないからです。血液検査でも、進行して黄疸や肝機能障害を認めるまで異常がありません。特に、十二指腸から離れた体部・尾部にできたがんは、本当の末期まで症状がない事が多いです。そんな中でもいくつかの特徴的な症状があります。長く続くみぞおちや背中への痛み 腰痛 急激な体重減少 糖尿病が発症または悪化がすい臓がんの特徴的であります。食生活があまり変わらないのに、急激に糖尿病のコントロールが悪化してきた人は要注意です。

すい臓がんの予後(治療見通し)

すい臓がんの予後は非常に悪く、すい臓がん5年生存している確率は20%程度です。手術をできないほど進行していた症例は、ほとんどが1-2年以内に死亡をしています。つまり、いかに早く見つけるかがとても重要になってきます。



すい臓がんの予防

すい臓がんの予防は、適度の運動・禁酒・禁煙と考えられています。酒に強い人でも、飲酒と喫煙の両方の習慣があると、たばこを吸わない人と比べると、すい臓がんになる危険度は65歳以下の人で2.2倍、65歳以上の人で4.2倍になるそうです。

すい臓がんは、早期に発見する事が何より大切です。原因不明の長期の腰痛・糖尿病のコントロールの悪化。急激な体重減少がありましたら一度ご相談下さい。

今月のホムドクの一言

— 糖尿病 わるくなったら 要注意 —